

1. 「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」・・・

「かわら版5月号」で触れましたが、西小南側桜の大木、3本の内2本が伐採されました。3本の伐採予定でしたが、何故か2本でした。表題のように、言い伝えられた文言があります。それは、桜は切ると木が弱り枯れやすいため切らない、又梅は適切な剪定をしないと良い花や実がならないので切るべきであると・・・。ただ今回の桜の木は、市の関係者によれば古木により枝の落下の恐れや、風倒木により児童



はじめ関係の方々への被害の面を考慮した判断や結果だったと思います。事が起きてからでは遅すぎるので、「安全第一」の好判断ではなかったでしょうか。案の定、1本の内面は写真の通り、内面が大きな空洞になっており、いつ倒木があってもおかしくない状態でした。五番町区内における樹木にもこのような恐れ

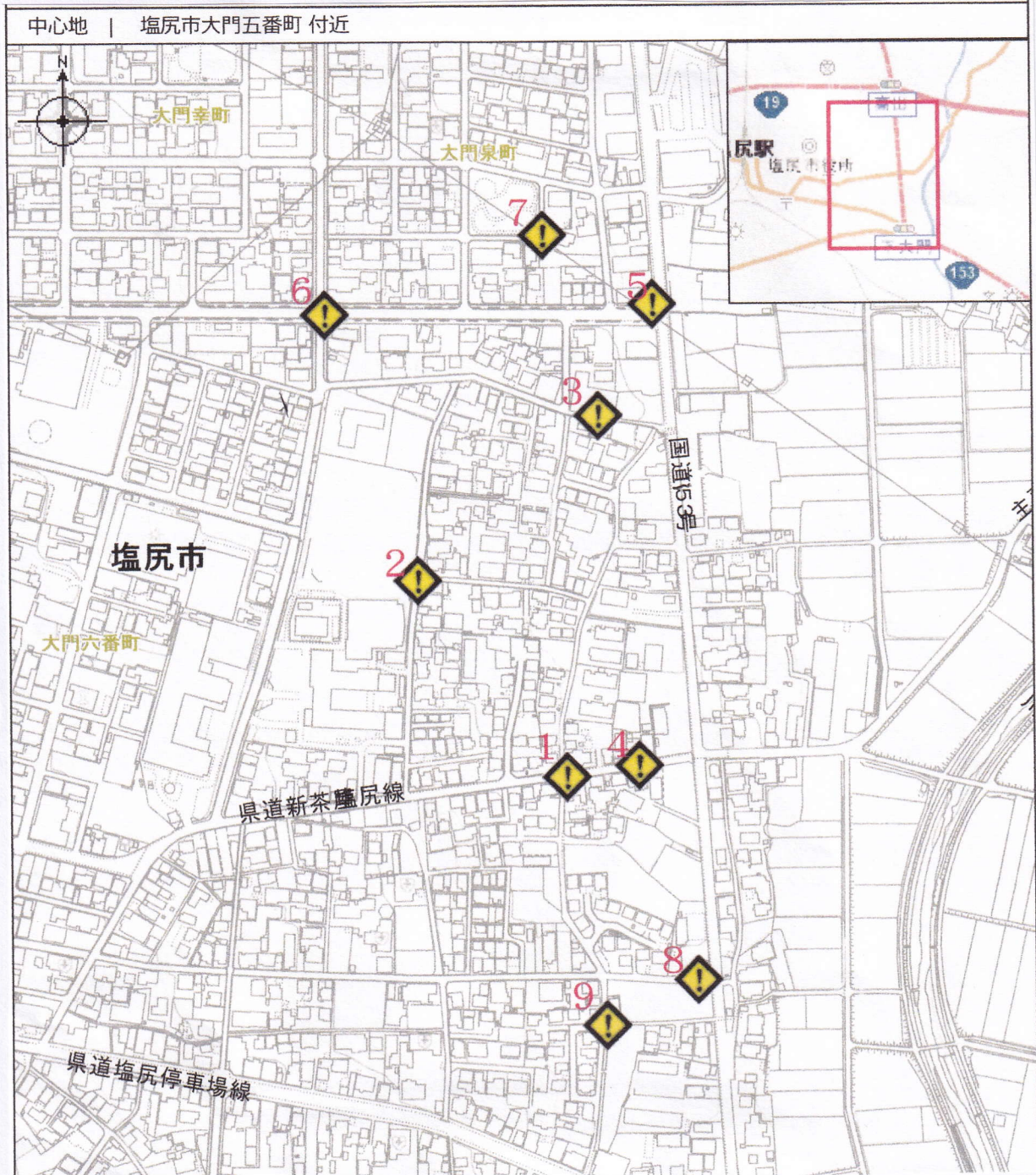
があるような場合、個人所有はあくまでも個人の責任で対処をお願いします。また、公共の所有物については、区役員や市役所への連絡相談が必要となります。表題の通り、桜や梅が文言に上がっていますが、要は「物事は何事においても適切に対処しなさい」、というメッセージが込められています。桜や梅に罪はないのです。念のため・・・。

2. 五番町点描アラカルト・・・

- 本年度の学校 PTA 役員により、五番町区内の危険箇所調査が先ごろ行われました。区内において「子どもを守る安心の家」の看板設置を9軒（営業所も含む）の方にご協力をいただいているわけですが、そこへの訪問による聞き取り、PTA のアンケート、また分館の会議などを経て、以下のような危険箇所が判明いたしました。児童、生徒のみの安全にかかわるだけではなく、大人の区民の皆様方にも、ご承知やご理解をいただき、安心、安全な五番町の地域づくりのためにご協力をお願いいたします。（裏面地図参照）

1. 吉江釣り具店様付近の十字路→中学生通学路。車の交通量多し。見通し悪し。飛び出しあり。（交通安全整備箇所として関連機関へ要望書提出予定）
2. 小学校グラウンド東側→子ども飛び出し。スピード上げる車。
3. 大門児童館北側より柱狩公園への細い道→見通し悪い。駐車車両あり。
4. セブンイレブン様～はだ生花店様前→歩道狭い。子ども自転車利用心配。
5. 泉町信号交差点→横断中、右左折車両とぶつかる危険。
6. 幸町スクランブル交差点→歩行者が青信号で横断していても進入してくる

7. 棧敷原公園南東角付近→樹木が大きくなると見通しが悪い。飛び出す児童あり。
8. 信光石油様スタンド南、国道東→道路脇が崩れている。(年度内整備予定あり)
9. スギ薬局様西側出入り口付近→車の出入りあり。(進入禁止となっている)



G のつぶやき 今回、安全・安心についての内容に多くを割いてしまいました。ご存知のように、ひとたび惨事が起これば、当事者のみならず、関係者他多くの方々がつらい思いや深い悲しみにさいなまれます。人為的な事故だけでなく、今日の自然災害など見聞するにつけ一層その感を強くします。「災害は忘れたころにやってくる」先人の警句です。スマホで検索すると、AI は「塩尻市周辺で想定される災害、地震・土砂災害」、とあります。備えでは、非常用持ち出し袋・ハザードマップ・避難場所の確認です。「備えあれば憂いなし」